

## 1 お宝探検事業の目的

「健康、歴史、魅力再発見、コミュニティ活性」をテーマに、大人と子どもが自分の校区を探検したり、勉強会を行うことによって、お互いに知らなかった校区のお宝(名所、旧跡、団体、人、モノ)を発見し共有する。また、探検の成果が活かされた他校区のまち歩きに参加することなどによって、中央区全体のまちづくり交流の契機となることを目的とする。



### 【参考】平成27年度の実績

内容 : まち歩き(出水南、碩台、向山)

お宝=歴史、まちの景色など

探検=校区のまち歩き → 現実的な「探検」

## 2 熊本地震の発生と影響

発災=多くの市民が被災し、避難所生活を送る。

現在=復旧復興に向けて新しい生活を開始。



中央区には集会所等併設の仮設住宅が無い。 →  被災者の孤立防止は喫緊の課題

## 3 平成28年度の事業内容

内容 : 「熊本地震被災者の孤立防止プログラム」

足湯や茶話会等を活用した傾聴活動

会場 : 拠点避難所であった「熊本市男女共同参画センターはあもにい」等

お宝=集いによって生まれる人と人との「つながり」、新たな出会い

探検=足湯、茶話会などによる発見、気づき → 観念的な「探検」



## 4 予算

300千円(消耗品費、印刷費など)

## 5 事業実施団体と役割

(1) 男女共同参画センターはあもにい

- ① 会場の提供
- ② SNS(フェイスブック)等による広報

(2) 小町ウイング(NPO)

- ① 足湯や茶話会等での傾聴活動
- ② 被災者が困っている情報等の区への提供(被災者の了承後)

(3) 中央区役所(まちづくり推進課)

- ① 被災者の困難な状況に対するフォロー
- ② 生活再建支援に関する情報提供
- ③ 市政だより等による広報

## 6 スケジュール

平成28年8月14日に避難所を閉鎖後、1回目の足湯を9月5日に開催。

以後、月3回ペースで6回実施済み(11月7日時点)。

今後は、広報活動を強化して更に参加者を募り、平成29年2月下旬まで開催する予定。

